



NEWS RELEASE

報道資料

2008年1月16日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ コスト削減計画を発表

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は1月15日(現地時間)、グローバルなコスト削減計画を発表しました。影響が及ぶのは、主として半導体製造装置およびサービス事業、ならびに関連サポート組織です。計画の一環として、同社は職務削減と自然減を通じて全世界の社員の約7%にあたる1,000程度のポジションを減らす予定です。

社長兼 CEO のマイケル・スプリンターは次のように述べています。「カスタマーサービスを強化するため、昨年夏には半導体製造装置事業を再編し、これをシリコンシステムズグループとして統合することで組織全体に相乗効果をもたらすことができました。当社はこうして業務効率とコスト構造の改善を図り、成長機会の追求にも力を入れています」

アプライド マテリアルズではこの計画に関連して約2,000万ドルの費用を見込んでおり、その大部分は2008年度第1四半期に計上されます。計画は2008年度第4四半期に完了する予定です。これに伴い、年間支出は2007年度に比べて約1億5,000万ドルの節減が見込まれます。

本プレスリリースには、この計画の想定規模、コスト、実施時期、利点、ならびに当社の業務効率や成長機会その他に関する将来の見通しが述べられています。将来見通しの記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と実質的に異なる場合があります。そうしたリスクや不確定要素としては、①ナノ製造テクノロジー業界における需要の持続性と、ソーラー分野などの新興アプリケーションへの需要の広がり(グローバルな経済状況、事業支出および個人消費支出、エレクトロニクス製品および半導体への需要、国際情勢不安などの影響を受ける)、②ナノ製造テクノロジー製品への資本支出のタイミング、速度、規模、持続性、③当社のビジネス要件の変化、④当社が(i)広範な製品を開発・提供およびサポートし、既存市場を拡大ならびに新市場を開拓する能力、および(ii)コスト構造を事業環境にタイムリーに適合させる能力、⑤当社が証券取引委員会(SEC)に提出する最新のForm 10-K報

告書などの書類に記載されているリスク、その他があります。アプライド マテリアルズは将来見通しの記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーとして、半導体デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池などの製造装置ならびに、サービス、ソフトウェア製品を幅広く提供し、ナノマニュファクチャリングテクノロジーを人々のライフスタイル向上に役立てています。

詳しい情報はホームページ：http://www.appliedmaterials.com/news/index_6.html（日本語）でもご覧いただけます。

このリリースは 1 月 15 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 15 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
コーポレート マーケティング部 : 平澤 美香 (Tel: 03-6812-6807 / Fax: 03-6812-6833)
ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>
